

令和3年度(2021年度)

管理事業名	千里山駅周辺整備事業			総合計画の体系	大綱 6 都市形成 政策 1 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり 施策 2 良好な住環境の形成
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 8 土木費	(項) 5	都市計画費	(目) 8 千里山駅周辺整備事業費
部局名	土木部	予算執行所属	地域整備推進室		
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
事業の目的と概要 【目的】 踏切の安全性、駅前都市機能の不足、都市計画道路の未整備、千里山団地の老朽化という地域課題の解消を図ります。 【概要】 駅前踏切を車両通行禁止とし、振替道路である千里山跨線橋線を整備します。 駅東側においては、自転車駐車場、コミュニティ施設、駅前交通広場、都市計画道路等の整備を都市再生機構団地建替えと総合的、一体的に行います。 駅西側においては、駅へのアクセス道路の歩道整備などを行います。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
全体事業費に対する執行事業費の割合	%	100.0	100.0	100.0	(執行事業費累計/総事業費)
道路整備完了延長	%	100.0	100.0	100.0	(道路整備完了延長/道路整備予定総延長)
成果の説明	千里山駅周辺整備事業では、駅西側を中心とした都市再生整備計画に基づき、平成30年度(2018年度)に駅西側の道路改良工事が完成し、予定していた工事は全て完了しました。 令和元年度(2019年度)は、当該事業の成果等を客観的に判断し、住民へ分かりやすく説明することを目的とした事後評価を実施しました。 令和2年度(2020年度)以降は、償還金の支払を行いました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	-	-	-	-
給与関係費	7,369	750	730	△20
物件費	2,538	-	-	-
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	18,953	18,908	18,908	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	659	66	58	△8
退職手当引当金繰入額	△6,488	△5,575	36	5,611
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	23,031	14,148	19,732	5,584
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△23,031	△14,148	△19,732	△5,584
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△23,031	△14,148	△19,732	△5,584
一般財源充当額	30,746	20,375	19,753	△622
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	7,715	6,227	21	△6,206

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
負担金・補助金・交付金等	UR都市機構 長期割賦返済金 18,908千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	-	-
行政サービス活動支出	30,746	20,375	19,753	△622
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
収支差額 合計	△30,746	△20,375	△19,753	622
一般財源充当額	30,746	20,375	19,753	△622
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民一人当たりのコスト	令和元年度	373,978 人	62 円	令和4年3月31日現在の吹田市人口で算出し、市民一人当たり52円のコストがかかっています。
	令和2年度	376,944 人	38 円	
	令和3年度	378,781 人	52 円	
事業面積当たりのコスト	令和元年度	130,000 m ²	177 円	事業面積1m ² あたり152円のコストがかかっています。
	令和2年度	130,000 m ²	109 円	
	令和3年度	130,000 m ²	152 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	66	58	△8
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	66	58	△8
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	7,976	7,976	-	その他流動負債	-	-	-
土地	7,976	7,976	-	固定負債	593	580	△13
建物・工作物	-	-	-	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	593	580	△13
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	659	638	△21
建物・工作物	-	-	-	純資産	7,317	7,338	21
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-	純資産の部合計	7,317	7,338	21
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	7,976	7,976	-
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	7,976	7,976	-				

Ⅲ 財務構造分析

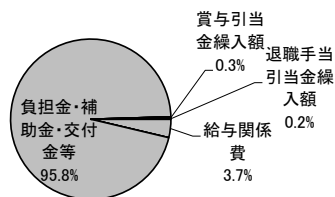
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事延日数	年間従事延日数	
	0.1人	0日	0日	824
給与関係費等	824千円	0千円	0千円	
内、時間外勤務手当	19千円			

貸借対照表の主な増減理由(特微的な事項)

勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		100.0	100.0	100.0	0.0

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

平成30年度(2018年度)に事業は完了し、令和元年度(2019年度)には、当該事業の成果等を客観的に判断し、住民へ分かりやすく説明することを目的とした事後評価を実施しました。令和2年度(2020年度)以降は、償還金の支払を行いました。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

平成30年度(2018年度)に事業は完了し、令和元年度(2019年度)には、当該事業の成果等を客観的に判断し、住民へ分かりやすく説明することを目的とした事後評価を実施しました。令和2年度(2020年度)以降は、事業は償還金の支払のみとなります。当該事業で得た経験を他事業で活かしていくことが必要と考えています。